



「3密」にしない

☑ 「密閉」しない

- 搬入・搬出・開催時は出入口・非常扉等を適宜開放し、会場の換気を図る。
※会場の換気システム要確認
- 換気が不十分な会場では、送風機・空間除菌脱臭機の導入を検討する。
- スタッフの休憩スペースは、常時換気することに努める。また、一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする。



☑ 「密集」しない

- 搬入・搬出時のスタッフの密集を避けるため、主催者・協力会社と連携し、役割ごとのシフト制を設ける。
- 来場者の入場時間を分けるオンラインでの事前予約・入場制限を行い、混雑を緩和する工夫を行う。
- 受付付近での滞留時間を減らすため、非接触人体検温ツールや非接触型体温計等の適切な配置を心がける。
- 入場待機スペースでは、人との間隔(できるだけ2m(最低1m))を確保するための案内サインやパーテーションで人の流れを区切るなど対策を取る。
- ホワイエ・トイレ・喫煙室など人が密集する場所での案内誘導スタッフの負担を減らすため、分散化を図る(タイムスケジュールの工夫・分散仕様を求めるサイン看板の設置)



☑ 「密接」しない

- 参加者との接触感染リスクの高い場所(受付・誘導等)では、透明ビニールシートによる間仕切りの設置。フェイスシールド・手袋の着用など対策を取り対応する。
- 参加者同士が会話する際の距離は、2m(最低1m)を確保するよう注意喚起する。
- スタッフ間の伝達事項は、トランシーバー・イヤホン・スマートフォン等を利用して対面を極力避ける。



主催者

- ☑ **運営マニュアル作成**: 感染症対策の責任者・組織図・フローチャートを明記する。
- ☑ **個人情報取得**: 感染者が確認された場合を考慮し、イベント来場者・関係者の個人情報を把握することが求められる。また、感染者が発生した際の相談窓口(保健所・医療機関)と会期前に入念な打ち合わせを行う。
- ☑ **スタッフの衛生**: マスクやフェイスシールドの着用、手洗いや手指消毒の徹底を図る。スタッフが着用する衣服はこまめに洗濯、運営備品の消毒は適宜行う。
- ☑ **ゴミの廃棄**: 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。ゴミを回収するスタッフは、マスクや手袋を着用する。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。
- ☑ **医療体制**: イベントの収容人数、スタッフ数を考慮し、医師・看護師の派遣を検討する。
- ☑ **隔離スペース**: イベント開催中に来場者・スタッフ・関係者が体調不良を訴え感染が疑われる際は、隔離スペースを設置し誘導。保健所・医療機関に連絡し、指示を仰ぐ。

来場者

- ☑ **安全な来場**: 公共交通機関利用者向けに、混雑時を避けての来場を事前にHP・SNS等で周知する。
- ☑ **マスクの着用**: 来場者には、基本的にマスク着用を依頼する。
- ☑ **体温検査**: 入場時にサーモグラフィ等のセンサーを設置し、来場者の体温検査を実施。37.5度以上の人を入場を断ることを検討する。
- ☑ **連絡先登録**: 入場で連絡先を記入していただき、14日間個人情報を保持する。記入の際は使い捨て鉛筆を使用する。保管期限を過ぎた個人情報は、責任を持って消去する。
- ☑ **手の消毒**: 非接触型アルコール消毒器や除菌ペーパーを要所に設置する。ゴミ箱をエリアごとに設置する。
- ☑ **マナー喚起**: 咳エチケットや顔に触れないようにするなど、マナーについて、サイン看板やスタッフより注意喚起を行う。

健康管理
スタッフ

- ☑ スタッフは出勤前に、体温測定、自覚症状の確認を行い、運営担当者に報告する。新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報を常に把握する。
・内閣府 <https://corona.go.jp/> / 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/index.html>
- ☑ 毎朝の体温測定と記録を徹底。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養。家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ☑ 手洗いは、30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)。
- ☑ 6~7時間の睡眠、食事はできるだけ決まった時間に食べる等、規則正しい生活を心がける。

衛生管理
会場

- ☑ 他人と共用する物品や手が頻りに触れる箇所を工夫して、最低限にする。
- ☑ 特に、高頻度で手が接触する場所=ハンドポイントに注意する。(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり、エレベーターのボタンなど)
- ☑ ITやロボット技術を活用して、非接触でできることを検討する。
- ☑ 衛生専任のスタッフを配し、定期的に除菌・洗浄を実施する。
- ☑ 手や口が触れるようなもの(コップ、箸など)は、適切に洗浄消毒する等、特段の対応を図る。